

学校名	草加市立両新田中学校
所在地	草加市西町 368-1
電話	048-924-5051

1 本校の概要

教育目標に「自ら学び 心豊かに たくましく」を掲げ、研究主題として「基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ確かな学力を育成する」を掲げている。「地域の教育力を生かし、豊かな人間性と確かな学力の育成 ～地域のよさを生かして～」をキャッチフレーズに、特色ある学校づくりの取組を推進している。

2 本校の実践

(1)実践の視点

- ア 読書活動の充実—朝読書と図書館利用状況
- イ 学校図書館等の環境の工夫

(2)実践の概要

ア 本校では、火曜・木曜の週2回、朝読書の時間を20分間設けている。この20分間は、静寂に包まれ、生徒たちは本と向き合うことができている。また、貸出数についても、年々増加傾向にあり、学校図書館利用が浸透していると言える。

【本校貸出数について】

	H22年度	H23年度	H24年度(～12月)
1年	960冊	2,568冊	1,983冊
2年	643冊	968冊	1,259冊
3年	291冊	964冊	692冊
計	1,894冊	4,500冊	3,934冊

【統計分類埋蔵書統計について】

H23年度末	H25.1.9現在
13,187冊	13,379冊

イ 「学校図書館等の環境の工夫」として①～③の取組を挙げる。

①は、分類番号を、絵を含め、分かりやすく提示・理解を求めたものである。②は、月ごとの掲示で、「今月のおすすめの本」「季節を表す言葉」を掲載している。③は、図書委員会所属生徒が作成した「この本がおもしろい」という図書啓発ポスターである。



3 成果と今後の課題

アの成果と課題

朝読書の取組から、休み時間に教室内で本を読む生徒が増えてきたり左の表にもあるように、貸出を行う生徒が増えたりしたことが成果である。ただ、利用者が偏っている現状や朝読書活動への評価に、工夫をもたらす必要があると言える。

イの成果と課題

図書館内・廊下には、委員会生徒が作成したポップや利用のルール、図書館利用を促すポスターがあることで、学校図書館に対し、親しみを持って、利用者増加に至ったのが成果であると言える。一方で各教科で図書館を利用しての授業実践をさらに広めていく必要があると言える。